

電事連会長 定例会見要旨

(2017年4月14日)

電事連会長の勝野です。よろしくお願ひいたします。

本日は、「2年目を迎えた電力小売全面自由化について」、「この夏の需給見通し」、「電力ISACの設立」の3点について申し上げます。

まずはじめに、熊本地震について、一言申し上げます。

本日、熊本地震から1年を迎えました。

熊本地震により被災された皆さまには、改めて心よりお見舞いを申し上げます。引き続き、「復旧・復興プラン」の下での取り組みが着実に進められ、一日も早い被災者の皆さまの生活再建と被災地の復興が実現することを願っております。

私ども電気事業者といたしましても、訓練の実施や設備面での対策などを通じて、引き続き、災害に強い電力インフラの構築に取り組んでまいります。

1. 2年目を迎えた電力小売全面自由化について

それでは、本日の1点目として、「2年目を迎えた電力小売全面自由化」について申し上げます。

今月1日で、電力小売全面自由化から2年目を迎えました。

昨年4月以降、各事業者は、お客さまのニーズに合わせた様々な料金メニューやサービスを展開しながら、互いに切磋琢磨しております。

電力小売全面自由化の進捗については、新電力のシェアも徐々に拡大しており、厳しい競争環境に突入したことを改めて実感しております。

こうした中、電力から1年遅れてガスの小売全面自由化も始まりました。

電気とガスを組み合わせた料金メニューを提供する会社も現れるなど、まさにエネルギーの垣根を越えた本格的な競争の時代に突入し、私どもといたしましても、総合エネルギー企業として発展していくための重要な起点と捉えております。

また、今月以降、社内取引分なども取引所を介して売買を行うことにより、卸電力取引の活性化や透明性向上といった効果を目指す「グロスビディング」も始まっております。

各社とも、準備が整い次第、売り入札量を拡大することとしており、これらの取り組みを通じて市場環境の整備に協力してまいります。

さらには、昨年末に実施された公募調達で落札された電源の活用が始まっており、また、ピーク時に節電インセンティブに応じてお客さまが電気の使用量を抑制する「デマンドレスポンス」を通じた需給バランスの調整も、今後、需給状況に応じて活用できることになっております。

このように、今年度も、市場メカニズムを通じた新たな事業環境の下で様々な取り組みが始まっておりますが、そうした中であっても、安価で良質な電気を安定してお届けするという使命にはいささかも変わりはありません。

私どもといたしましては、電力に限らず、エネルギー全体の総合的な観点から、引き続き、お客さまに選択いただけるよう、競争には全力で立ち向かっていく一方、安定供給に関わる部分については各事業者間で協力して取り組む「競争と協調」の両立にしっかりと取り組んでまいります。

2. この夏の需給見通し

次に、「この夏の需給見通し」について申し上げます。

一般送配電事業者各社は、この夏の需給見通しを電力広域的運営推進機関に報告し、現在、広域機関の「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」において検討が進められております。

この夏の需給見通しについては、各社とも安定供給に必要な予備率を確保できる見通しであります。

しかしながら、このたびの報告内容は、需要面では、引き続きお客さまの節電へのご協力を織り込んでいることに加え、供給面では、高経年火力を継続的に活用せざるを得ないなど、依然として火力発電に大きく依存する内容となっております。

私どもといたしましては、今後の政府による検証結果も踏まえ、気温の上昇による需要の増加や設備トラブルによる供給力の減少リスクなどに備え、引き続き、需給両面において最大限の取り組みを行ってまいります。

一方、持続可能な安定供給を確保し、できるだけ安価な電気をお届けするという使命を実現するためにも、ベースロード電源である原子力発電の果たす役割は極めて大きいものと考えております。

私どもといたしましては、新規制基準への確に対応することはもとより、規制の枠を超えて、外部の機能も積極的に活用しながら、より高い次元の安全性確保に努めるとともに、こうした取り組みを、立地地域をはじめ広く社会の皆さまにしっかりとご説明することで、一日も早い原子力発電所の再稼働を目指してまいります。

3. 電力 ISAC の設立

最後に、「電力 ISAC の設立」について申し上げます。

電事連加盟各社は、発電事業者有志および電力広域的運営推進機関などを加えた計 27 団体の参加のもと、先月 28 日、電気事業者間のサイバーセキュリティに関する情報共有と分析を行う組織として「電力 ISAC」を設立いたしました。

電気事業者は、これまでも、各事業者が主体的にサイバーセキュリティ対策や演習などを実施してまいりましたが、社会全体でサイバー攻撃の脅威が高まる中、事業者間で緊密に連携を図る仕組みを構築することは大変重要であります。

「電力 ISAC」は、こうした認識のもと、電力の安定供給に重要な役割を担う事業者間で、サイバーセキュリティに関する情報を共有・分析することにより、会員事業者が、事故の未然防止や発生した事故に迅速に対応することを目的とした組織であります。今後、海外機関との連携なども視野に活動を推進してまいります。

私どもといたしましては、こうした取り組みを通じて、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

本日、私からは以上です。

以 上